

銭湯にコミレス

中頓別でオープン

【中頓別】公衆浴場・黄金湯（渡辺由起子さん経営）は12日、施設内にコミュニティレストラン（コミレス、地域食堂）「コミレス・かふえ・トントン」をオープンさせた。記念の特別ランチ70食は2時間で完売する人気ぶり。銭湯とコミレスの融合は全道でも例がなく、入浴と食を通じて集いの場を提供、地産地消や中頓別名物の食品づくりにも取り組む。（太田一郎）

か
ふ
え
・
ト
ン
ト
ン



初日から人気を博した黄金湯のコミレス

入浴と食通じ集いの場

初日は銭湯ロビーや駐車場にもテーブルを並べ増席。準備や調理、配膳の応援に住民15人が駆け付けた。

特別ランチは、中頓別産の豆や白菜、ジャガイモ、名産のアスパラなどを使った煮物やコロッケ、ギョーザなど多彩な料理12品を盛り付けて、500円で提供。午前11時の開店と同時に町内外から大勢が訪れた。

音威子府村の平田武夫さん(71)、芳子さん(67)夫婦は「料理の組み合わせが良く、おいしい。コミレスで重要な食材の地産地消にも取り組んでいる。風呂があるので独居の人も集まって語り合う場になりそう」と期待。長男の優太ちゃん(2)を連れて猿払村の信金職員金沢友幹さん(42)、康子さん(38)夫婦は「彩りも良く優しい味」と語っていた。

初日から大勢のボランティアや客が集まったことについて渡辺さんは「良いスタートを切れ、皆さんに感謝します。ここを拠点に人々のつながりを広げたい」と話した。

7月までは仮オープン期間で、火・金・日曜の午前10時～午後4時に営業し、コーヒー、紅茶なども提供。ランチは午前11時～午後2時。